

# 令和3年度 事業結果報告

警備業を取り巻く情勢は依然として厳しい中、新型コロナウイルス感染対策の徹底を図りながら会員のご理解とご協力を得て、下記の活動を重点として取り組んだ。

## 1 警備業務運営の適正化

- (1) 適正な業務運営のための法令遵守と助言・指導の充実強化
  - ア 「警備業における適正取引推進等に向けた自主行動計画」改訂版の普及強化
  - イ 全警協講師を招聘した経営者等幹部研修会の開催による自主行動計画の講話
  - ウ 全警協・労働局等関係機関から発出される各種情報の提供
  - エ 協会機関誌等への掲載による意識啓発
- (2) 警備業経営者等「倫理要綱」、「警備員規範」及び「警備員心得」等の実践
  - ア 各種講習・研修会時の指導や協会機関誌等への掲載による周知徹底と意識啓発
- (3) コロナ禍における適正な労働環境の改善と労働災害防止活動の強化
  - ア 新型コロナウイルス感染予防のためのガイドラインの遵守と諸対策の推進
  - イ 労災事故防止に関し協会機関誌等への掲載や論文・標語等を募集して意識啓発
- (4) 暴力団等反社会的勢力排除対策の強化
  - ア 新型コロナウイルスの感染拡大により協会協議会総会、県民大会等は中止
  - イ 警察本部から聴取した暴力団・右翼等情勢及び対策を会員に情報提供
  - ウ 暴迫センター評議員会は書面決議、不当要求防止責任者講習に参加

## 2 警備員の資質向上のための教育事業の充実強化及び功労者等の表彰

- (1) 講師研修会への参加及び自県研修会の開催等による指導体制の強化
  - ア 講師が法令・指導要領等についての定期的研鑽により共通認識での講習対応
  - イ 講習前の事前学習計画表や模擬試験問題と連動させた講習の実施
- (2) 指導教育責任者等による送り出し教養の徹底
  - ア 教育担当幹部等を対象とした実技訓練研修会の開催により指導要点等を研修
  - イ 受講前の心構えや計画的自主学习、組織的なフォロー教養等について協会機関誌等への掲載による意識づけ
- (3) コロナ禍における講習等対策の徹底
  - ア 講師及び受講者の健康管理対策や講習用資器材整備による感染防止対策の徹底
  - イ 講習・研修会等の一部延期又は中止

(4) 功労者等に対する表彰の充実

ア 永年勤続の優良警備員、人命救助等功労者、論文・標語等応募優秀者への表彰

(5) 「全警協eラーニング」による警備員教育の運用開始延期

(6) 警備員指導教育責任者等講習(公安委員会委託講習)の実施

種 別		実 施 日	受講者	合格者	合格率
2 号	新規	10月18日～22日	17名	12名	70.6%
	追加	10月21日～22日	13名	13名	100.0%
機 械	取得	7月21日～23日	7名	7名	100.0%
1 号	新規	11月15日～20日	18名	18名	100.0%
	追加	11月18日～20日	8名	8名	100.0%
3 号	新規	8月23日～27日	2名	2名	100.0%
	追加	8月26日～27日	1名	1名	100.0%
4 号	新規	8月2日～6日	1名	1名	100.0%
	追加	8月5日～6日	8名	8名	100.0%

(7) 警備員事前講習・特別講習の実施

種 別	事 前 講 習			特 別 講 習				
	実施日	受講者		実施日	受講者		合格者	合格率
交通誘導 2級	5月22日	新規	45名	5月29日 ～30日	新規	41名	26名	63.4%
	～23日	再試	19名		再試	19名	10名	52.6%
雑 踏 2級	6月12日	新規	32名	6月26日 ～27日	新規	31名	26名	83.8%
	～13日	再試	6名		再試	5名	2名	40.0%
施 設 2級	10月2日	新規	20名	10月9日 ～10日	新規	19名	17名	89.4%
	～3日	再試	0名		再試	0名	0名	%
貴重品 2級	10月2日	新規	24名	10月9日 ～10日	新規	24名	19名	79.1%
	～3日	再試	2名		再試	2名	1名	50.0%
施 設 2級	11月6日	新規	34名	11月27日 ～28日	新規	32名	25名	78.1%
	～7日	再試	3名		再試	3名	2名	66.6%
交通誘導 2級	12月4日	新規	53名	12月10日 ～11日	新規	52名	27名	51.9%
	～5日	再試	10名		再試	9名	6名	66.6%
施 設 1級	2月5日	新規	45名	2月11日 ～12日	※ 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い事前及び特別講習ともに中止			
～6日	再試	0名						

### 3 警備料金の適正化等による経営基盤の強化

(1) 研修会の開催等による意識改革

ア 「警備業における適正取引推進等に向けた自主行動計画」改訂版の普及強化

- イ 全警協講師を招聘した経営者等幹部研修会の開催による自主行動計画の講話
- ウ 社会保険の加入状況等について調査し、今後の加入促進対策を検討
- エ 労働局主催の人材確保対策推進協議会に参加して働き方改革等について研修
- オ 全警協・労働局等関係機関から発出される各種情報の提供

(2) 国及び地方公共団体等関係機関・団体に対する働きかけ

- ア 県主催交通誘導員対策意見交換会に参加し、県土木、国道事務所、建設業協会に対し交通誘導警備等の実態や適正料金の確保等について説明

## 4 広報・啓発活動の強化

(1) 協会ホームページの改修と SDGs 登録

- ア 協会ホームページを改修し、青年部会Instagram併用でPR
- イ 「かごしま SDGs 推進パートナー」に登録し、業界の社会貢献姿勢をPR

(2) 「警備の日」を中心とした報道等による広報活動の実施

- ア 警備業の教育制度として事前講習の実技訓練をテレビ放映
- イ 鹿児島中央駅前の街頭キャンペーンでチラシ等を配布し、「警備の日」をPR
- ウ 県下すべての高校に手作りの警備業パンフを配布

(3) その他の広報活動

- ア 機関誌「SECURITY KAGOSIMA」及びミニ広報紙「熱風」の発行による情報提供
- イ 人材確保対策としてハローワークとの合同就職説明会を開催

## 5 公益活動の推進

(1) 地域社会及び公益団体への協力・支援活動

- ア 県や警察との協定等に基づく各種手配、データ提供等要請への迅速対応
- イ 「こども見守り活動」の実施及び防犯キャンペーン・フォーラム等への参加
- ウ 「セーフティ・チャレンジ交通安全コンテスト」への参加
- エ 防犯協会、暴追センター、犯罪被害者支援センターへ賛助金を拠出して支援

(2) 大規模災害等発生時対策の推進

- ア 「鹿警協支援隊」活動に備えた装備品等の整備
- イ 県警との協定に基づく災害発生時の支援会員企業及び出動警備員数を調査
- ウ 県知事との協定に基づき、出水市及び長島町で発生した高病原性鳥インフルエンザの交通誘導警備業務に会員企業が従事
- エ 県主催の防疫対策会議及び防疫演習(web)に参加